

第12章 内部障がいのある人へのサポート

1 はじめに

全国障害者スポーツ大会においては、従来、内部障がい（内部機能障がい）のある選手は出場が認められていませんでした。しかし、競技規則の改正により、平成20年の第8回大会（大分大会）からは、一部の内部障がい（ぼうこう・直腸機能障がい）に限り、「陸上競技」、「アーチェリー」、「フライングディスク」への参加が認められています。

内部障がいは、外見上、障がいのあることがわかりにくい障がいですので、内部障がいに対する正しい知識と理解をもつことが、選手をサポートするためには大切です。

2 内部障がいとは

内部障がいとは、心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう又は直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫、肝臓の7種類の機能の障がいにより、日常生活を著しく制限される状態にあると認められるものをいいます。

いずれも生命維持のための重要な機能の障がいであるため、内部障がいのある人は、通院や医療機器の装着のほか、日常の生活に何らかの制限を受けています。

3 様々な内部障がい

内部障がいと一言でいっても、先に記載したように様々な種類があります。厚生労働省の「福祉行政報告例（令和3年度）」の結果によると、内部障がいのある人の内訳は次のようになります。

【内部障がいの内訳】

内部障がいの種類	人数
心臓機能障がい	87.4万人
じん臓機能障がい	39.8万人
呼吸器機能障がい	7.7万人
ぼうこう又は直腸機能障がい	22.5万人
小腸機能障がい	0.5万人
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい	3.1万人
肝臓機能障がい	1.1万人
全体	162.1万人

(1) 心臓機能障がい

心臓機能障がいとは、先天性心臓病や動脈硬化、高血圧、高脂血症などによる冠動脈疾患により、心筋が働くための酸素の需要と供給のバランスが崩れ、身体に必要な血液を十分に送り出せなくなった状態をいいます。こうした状態から、急性、あるいは慢性心不全や狭心症などを発症することがあります。

また、これらは加齢や生活習慣が引き金となることも多く、いわゆる生活習慣病の代表的な疾患ともいわれています。

近年、医療技術の進歩により、狭心症患者が心臓手術をしたり、心筋梗塞後に心不全を起こしてペースメーカーを装用したりするなど、患者の状況に応じた治療が行われています。

【携帯電話はペースメーカーに影響するの？】

ペースメーカーは、命を維持する大切な医療機器です。これまで、携帯電話などの電子機器は、ペースメーカーに影響するので「ペースメーカーをつけている人の近くでは携帯電話を使わないように」と言われていましたが、2015年に総務省で発表された指針（「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」）では、携帯電話などの電子機器類がペースメーカーに影響する可能性は限りなく低いと発表されました。これで、ペースメーカーをつけている人もそうでない人も、必要以上に不安に思う必要はなくなりました。

ただ、指針でも「ペースメーカーをつけている人から15cm離れた距離で電子機器類は使用する」と、一定の距離を保つことが書かれているので、満員電車などの人が多いところでは、気を付けるようにしましょう。

(2) じん臓機能障がい

じん臓機能障がいとは、腎炎など、じん臓そのものに異常や機能低下が生じた場合、あるいは、糖尿病、痛風などの全身性疾患などからじん臓がその機能を失い、体内に老廃物が溜まったり、高血圧になったりすることをいいます。

主な治療法として、透析療法（次の2種類）があります。

- ① 血液透析：体外の透析器に血液を通過させ、体液調整を行うこと
- ② 腹膜透析：カテーテルで透析液を腹腔内に出し入れし、腹膜を透析膜として体液調整を行うこと

透析療法を行うことで、自宅で生活することができですが、継続して透析

を受けなければならないため、旅行などの長期外出には行きづらいこともあります。旅行先などでも透析を受けることは可能ですが、手続きが複雑で、慣れない場所での透析は不安を感じる人もいるため、利用する人は多くありません。

腹膜透析は、比較的自由な日常生活が行えますが、カテーテル接続時の感染対策など細やかな配慮が必要です。

また、じん臓機能障がいの方は、**疲れやすい**という特徴があります。

(3) 呼吸器機能障がい

呼吸機能は、

- ① 換気
- ② 通気性の維持・気道の浄化
- ③ 胞ガス交換

という三つの役割を担っていますが、これらの内いずれかの機能に障がいがある状態を呼吸器機能障がいといいます。

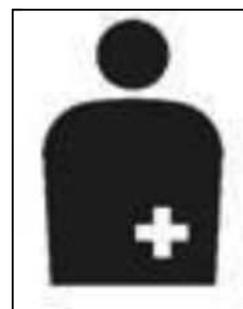
呼吸器機能障がいの治療法として、在宅酸素療法（H O T : ホーム オキシジェン Home Oxygen セラピー Therapy）を行う人が増えています。自宅に酸素供給機を設置し、入院しなくても酸素の吸入ができ、日常生活を送ることができます。

呼吸器機能障がいの人の近くでの喫煙は、タバコの煙が呼吸機能に悪影響を及ぼすこともあるので注意しましょう。

(4) ぼうこう又は直腸機能障がい

ぼうこう又は直腸機能障がいとは、ぼうこうや直腸、尿管・尿道の機能低下や切除により、適切な排泄などが困難になることをいいます。ぼうこう・直腸機能障がいのある人は、手術等により腹部に人工肛門・人工膀胱（ストーマ）を装着し、排便・排尿を行います。ストーマには、造設した箇所により結腸ストーマ、回腸ストーマ、尿路ストーマなどの種類があります。また、ストーマ保有者を「オストメイト」といいます。

右のマークは、そのようなストーマを着用している人のマークで「オストメイトマーク」といいます。オストメイトは、排泄物を常時受け止める、専用のパウチ（便などを一時的に溜めておく袋）を装着しています。私たちが定期的にトイレに行き排泄をするように、パウチ内の排泄物も、適宜処理する必要があり、パウチやストーマの洗浄、換気、消毒、それらに必要な器具などを置くスペースの確保が必



【オストメイトマーク】

要です。

オストメイトマークがあるトイレでは、これらの条件が満たされ、より快適に排泄できるようになっています。

(5) 小腸機能障がい

小腸機能障がいとは、小腸の疾患や切除によって、小腸機能が低下し、栄養の消化・吸収が妨げられる状態をいいます。

主な治療法として、

- ① 完全静脈栄養法
- ② 経腸栄養法

があります。完全静脈栄養法は、中心静脈にカテーテルを用いて栄養成分を流し込む方法です。経腸栄養法は、各栄養素を口から摂取、又はカテーテルを用いて腸管へと送り込む方法です。一般的に、障がいの程度が重くなるほど、①の方法で治療を行います。

完全静脈栄養法により、カテーテルを中心静脈に埋め込んでいる人の場合、カテーテルの露出が少なく、入浴やスポーツなどを自由に行うことができ、行動制限が少ないというメリットがあります。

(6) ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい

ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がいとは、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染し免疫機能が低下した状態をいいます。免疫機能が低下することで、様々な感染症などを発症しやすい状態になり、最終的に**後天性免疫不全症候群（AIDS）**を発症することもあります。明確な治療法が確立されていませんが、多くの人が、発症を遅らせるために抗ウイルス剤を服用しています。また、間違った理解により敬遠されがちで、周囲から偏見の目で見られることもあります。普通の生活で感染することはないので、病気に対する正しい知識を持ち、普通に接するように心掛けることが大切です。

(7) 肝臓機能障がい

肝臓が何らかの異常によって、正常に機能しなくなることをいいます。肝機能の数値で障がいがどの程度の状態であるかを判断します。肝臓は沈黙の臓器といわれ、自覚症状がほとんどないため、進行していることに気が付かず、進行が進めば全身倦怠感・食欲不振・黄疸などの症状が現れ、最悪の場合死に至ります。2010年から、内部障がいの一つとして、身体障がい者手帳の対象になりました。

4 内部障がいの特徴

(1) 外見から分かりにくい。

外見からは分かりにくいいため、電車やバスの優先席に座っても周囲の理解が得にくいなど、精神的なストレスを受けやすい状況にあります。

(2) 疲れやすい。

障がいのある臓器だけではなく、全身にあらゆる負担を受けているため、体力がなく疲れやすい状態にあります。重い荷物を持つ、長時間立つ等の身体的負担を伴う行動が制限されます。

(3) タバコの煙を苦しく感じることもある。

呼吸器機能障がいのある人の中には、タバコの煙を苦しく感じる人もいます。喫煙は所定の場所でするようにしましょう。

(4) トイレに不自由することがある。

オストメイトの人は、オストメイト用のトイレを使用することで、より快適に排泄をすることができます。

会場内で、オストメイト対応トイレがどこにあるのか、事前に確認しておきましょう。オストメイト対応トイレには、「オストメイトマーク」が表示されています。

5 コミュニケーションのポイント

(1) 負担をかけない対応を心掛けましょう。

内部障がいのある人は、疲労感が溜まり、集中力に欠けるなど、外見からはわかりにくい不便さを抱えていることを理解し、できるだけ負担をかけない対応を心掛けましょう。

(2) 近くで火気のあるものを使用しないようにしましょう。

呼吸機能障がいのある人は、酸素ボンベや液体酸素を使用することもあるので、使用している人の近くではタバコ等の火気を使用しないようにしましょう。

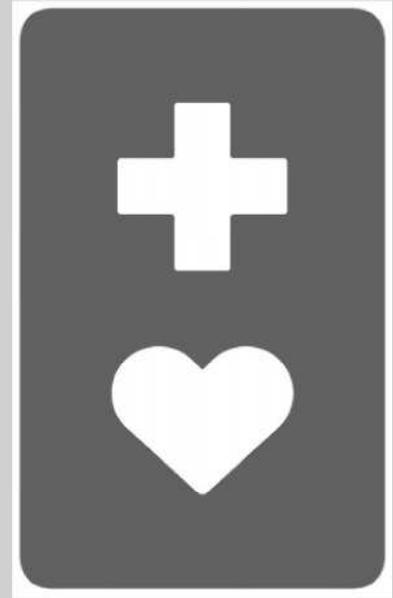
(3) 自分から言葉をかけ、お手伝いできることがないか確認しましょう。

内部障がいのある人の中には、倦怠感などにより、重いものを持つことが困難な方もいます。自分から言葉をかけ、お手伝いできることがないか確認しましょう。

【ヘルプマークのこと知っていますか？】

ヘルプマークは、聴覚障がい者や高次脳機能障がい者、義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が作成しました。

ヘルプマークをつけた方を見かけたら、電車・バス内で席をゆずる、困っているようであれば声をかけるなど、大会期間中だけでなく、日頃から思いやりのある行動をとれるようにしましょう。



【ヘルプマーク】